

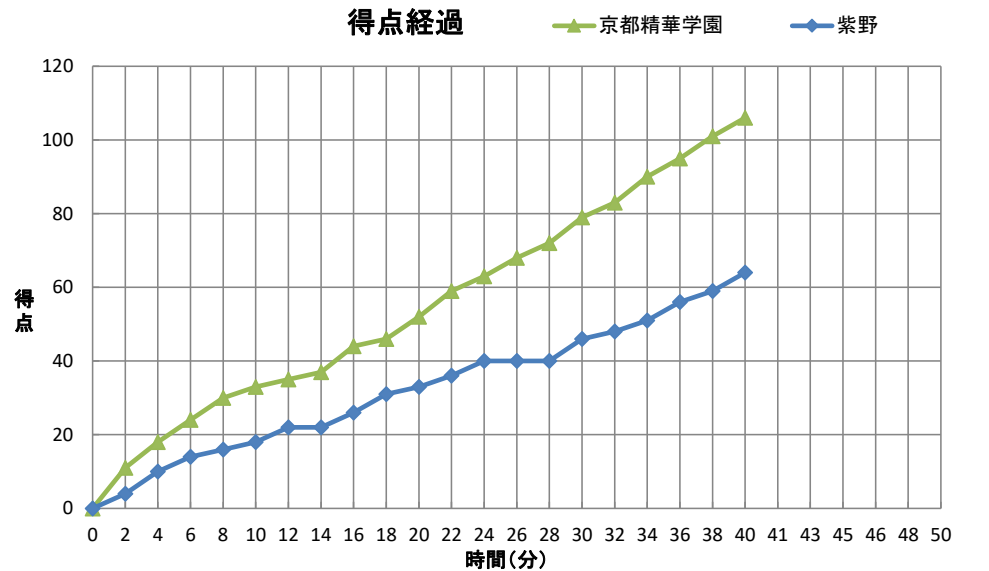


第39回京都府高等学校選手権大会 兼
第72回全国高等学校バスケットボール選手権大会京都府予選

個人トータル表

女子		11月3日		10:00 開始															
決勝		宝が池公園運動施設体育館		M															
◎ 京都精華学園 106		<table border="1"> <tr><td>33</td><td>1st</td><td>18</td></tr> <tr><td>19</td><td>2nd</td><td>15</td></tr> <tr><td>27</td><td>3rd</td><td>13</td></tr> <tr><td>27</td><td>4th</td><td>18</td></tr> </table>		33	1st	18	19	2nd	15	27	3rd	13	27	4th	18	64		紫野	
33	1st	18																	
19	2nd	15																	
27	3rd	13																	
27	4th	18																	
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則						
* 4	高橋 未来	15	2	4	1	0	* 4	東 史野	15	0	5	5	3						
* 5	松尾 祥花	9	3	0	0	2	* 5	定久 真奈	7	0	2	3	2						
* 6	関 瑞葵	24	2	7	4	3	* 6	吉村 朋子	28	0	11	6	4						
7	白石 あゆみ	0	0	0	0	0	* 7	原 菜紘	0	0	0	0	2						
8	川原 和	2	0	1	0	1	* 8	中原 百望	8	0	3	2	4						
9	祢宜 くるみ	0	0	0	0	0	9	土谷 朋葉	0	0	0	0	1						
* 10	荻田 美	15	1	5	2	4	10	安田 美都	0	0	0	0	0						
11	柴田 柚菜	21	0	10	1	3	11	櫻井 琳	-	-	-	-	-						
12	中江 美友	0	0	0	0	1	12	森元 歩音	-	-	-	-	-						
13	高瀬 真菜	0	0	0	0	1	13	柏木 ひかる	-	-	-	-	-						
14	瀬川 心暖	0	0	0	0	0	14	田中 和	-	-	-	-	-						
15	T. セトウ	2	0	1	0	1	15	高取 美来	6	0	3	0	0						
16	呉本 明津実	0	0	0	0	1	16	木谷 汐音	-	-	-	-	-						
17	白石 ちさと	2	0	1	0	0	17	山本 優依	-	-	-	-	-						
* 18	A. ラリヤ	16	0	8	0	3	18	竹原 優奈	-	-	-	-	-						
コーチ	山本 綱義					0	コーチ	吉田 聡					0						
Aコーチ	町田 瀬名						Aコーチ	野村 安寿里											
合計		106	8	37	8	20	合計		64	0	24	16	16						
主審: 小出 聡子 副審: 加藤 毅 副審: 大溝 貴広																			

得点経過



CTO	1・2P		3・4P		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	38:50	39:45	:	:	:	:
TeamB	2:04	14:02	22:50	34:06	37:37	:	:	:

〔 戦 評 〕

両チームマンツーマンでスタート。留学生#18のインサイドを中心に攻める京都精華に対し、紫野は留学生に対するドライブやピックアンドロールで攻め込み、一進一退の攻防が続く。残り7分、11-4となったところで紫野タイムアウト。互いにメンバーを交代しながらオフェンスを組み立てる。33-18の京都精華リードで第1Q終了。

第2Q、激しいディフェンスで両チーム得点が伸びない。リバウンドルーズを徹底して追いかける紫野は、3Pが思うように決まらないが#6の力強いドライブで得点。京都精華はディフェンスリバウンドから#4のスピードを生かしたブレイクで得点を重ね、52-33で前半終了。

第3Q、後半戦、ファーストショットは京都精華#10の3P。しかしすぐさま紫野#6が2ショットもらう。紫野は京都精華#4に対してフェイスガード。紫野は留学生に対してドライブ。残り7分紫野タイムアウトをとり、激しいディフェンスで対応する。しかし思うように3Pが入らず、79-46で終了。

第4Q、ウインターカップ出場をかけた最終ピリオド、紫野は相手ディフェンスへ力強くアタックし続ける。京都精華は、慌てることなくインサイドアウトサイドともに安定してショットが決まり紫野を突き放す。最終スコアは、106-64。4年連続の優勝をかざった京都精華は、終始高い精度のプレーで確実に勝利を掴んだ。そして最後の最後までプレッシャーディフェンスをかけ続け、強くリングへ向かい続けた紫野に拍手を送りたい。全国大会での活躍を期待する。

記録: 南陽高校 松村 郁輔